

要望事項 (優先順位 洛北自治連 1, 左北自治連 1)

花脊峠のトンネル化

要 旨

毎年要望を出し続けている京都広河原美山線(鞍馬北工区)、左京区北部山間地域道路の部分改良について、少しずつではありますが毎年実施され、地元住民も安心安全に通行できつつあることに深く感謝申し上げます。また、鞍馬温泉以北300メートルの拡幅についてもよろしくお願いいたします。

花脊峠のトンネル化の早期実現の要望は過去6年間要望し続け、昨年度にやっと具体的な回答をいただきました。早期の事業着手が困難な理由として、過去6年間繰り返し言われ続けてきた巨額な事業費が見込まれることと、事業化に向けて検討をしてきたところ、ルート及び工法において新たな課題が出てきたことにより事業費の増大が見込まれるとあります。巨額な事業費にさらなる増大が見込まれる事業費の京都市の負担がどのくらいなのか、国との折衝が行われたのでしょうか。

事業化に向けて検討がなされていたとお聞きし、地元住民に対して少しの説明責任が果たせると思っています。今後、国への要望がなされた場合や事業検討がなされたなら、地元住民に対してご説明いただくようお願いいたします。

京都市の財政が非常に厳しい状況にあることは重々に承知しておりますが、左京山間地域は左京区の面積の49パーセントを占め、京都市の面積の20パーセントを占める自然豊かで文化的価値の高い京都市民の財産であると言われていています。この左京山間地域が10年前と比べ、ますます過疎化が進み限界集落となり、各自治振興会組織も運営が難しくなり、危機的な状況にあります。トンネルができたからと言ってすぐに過疎化がなくなり活気溢れる地域になるとは限りません。しかしながら、トンネルの完成とともに、地域住民の過疎化解消の努力があれば、徐々に地域住民が増え、訪れる人が増え、活気溢れる地域になっていくと思います。このような左京山間地域の状況を京都市も認識し、地域住民の思いを共有していただき、花脊峠のトンネル化に向けて、ともに考えていただきますよう、よろしくお願いいたします。

**回 答
(建設局)**

本市では、非常に厳しい財政状況のなか、市民の皆様の安心・安全の確保や京都のまちの持続的な成長を支えるため、通学路等における安全な歩行空間の確保や緊急輸送道路の通行機能の確保などに重点的に取り組んでおりますが、その一方で、多くの路線で事業の一時休止を行っている状況です。

左京北部山間地域の皆様の安心・安全の暮らしに欠かすことのできない道路の通行環境の改善は、着実に推進していく必要があると認識しており、これまでから取り組んでおります左京北部山間地域の部分的改良及び京都広河原美山線(鞍馬北工区)につきましても、今後も引き続きしっかりと進めてまいります。

しかし、花脊峠のトンネル化につきましても、従来からお伝えしております巨額の事業費に加え、昨年度には建設工事費の高騰や新たな課題対応のために、更なる事業費の増大が見込まれることを回答させていただいたところです。道路事業に係る現在の国の支援制度により、国からは事業費の50%を上限として支援を受けることがで

きると考えておりますが、厳しい財政状況にある本市が、残りの事業費を負担することが現状において難しく、早期の事業着手は困難な状況ですので、御理解を賜りますようお願いいたします。